

令和2年度鳥取県立高等学校募集生徒数及び入学者選抜検査内容等一覧表
 <全日制課程>

学 校 名	大 学 科	小学科(コース)	募 集 生徒数	推 薦 入 学 者 選 抜				一 般 入 学 者 選 抜			
				募集人員(人以内)	うち県外生徒(人程度)	調査書で重視する教科	検査内容	県外通学生徒募集実施	学力検査実施教科	調査書の合計評定と学力検査の合計得点	その他の検査内容
鳥 取 東	普 通	普 通	} 280	-	-	-	-	-	5教科	130:250	面 接
	理 数	理 数									
鳥 取 西	普 通	普 通	280	-	-	-	-	-	5教科	130:250	面 接
鳥 取 商 業	商 業	商 業	190	60	-	無	面接・作文	-	5教科	195:250	面 接
鳥 取 工 業	工 業	機 械	38	12	-	無	面接・作文	○	5教科	195:250	面 接
		電 気	38	12				-			
		制 御 ・ 情 報	38	12				-			
		建 設 工 学	38	12				-			
鳥 取 湖 陵	農 業	食 品 シ ス テ ム	38	15	-	無	面接・作文	-	5教科	195:250	面 接
		緑 地 デ ザ イ ン	38	15				○			
	工 業	電 子 機 械	38	15				○			
	家 庭	人 間 環 境	38	15				-			
	情 報	情 報 科 学	38	15				-			
青 谷	總 合		114	15	3	無	面接・作文	-	5教科	195:250	面 接
岩 美	普 通	普 通	114	22	7	無	面接・作文	○	5教科	195:250	面 接
八 頭	普 通	普 通	240	16	5	無	面接・作文・実技	○	5教科	130:250	面 接
智 頭 農 林	農 業	ふ る さ と 創 造	} 68	} 9	} 4	無	面接・作文	○	5教科	195:250	面 接
		森 林 科 学									
		生 活 環 境									
小 計			1,628	245	19						

令和2年度鳥取県立高等学校募集生徒数及び入学者選抜検査内容等一覧表
 <全日制課程>

学 校 名	大 学 科	小学科(コース)	募 集 生徒数	推 薦 入 学 者 選 抜				一 般 入 学 者 選 抜			
				募集人員(人以内)	うち県外生徒(人程度)	調査書で重視する教科	検査内容	県外通学生徒募集実施	学力検査実施教科	調査書の合計評定と学力検査の合計得点	その他の検査内容
倉 吉 東	普 通	普 通	200	—	—	—	—	—	5教科	195 : 250	面 接
倉 吉 西	普 通	普 通	120	24	—	無	面接・作文	—	5教科	130 : 250	面 接
倉 吉 農 業	農 業	生 物	34	10	3	無	面接・作文	○	5教科	195 : 250	面 接
		食 品	34	—	—	—					
		環 境	34	—	—	—					
倉 吉 総 合 産 業	工 業	機 械	38	15	2	無	面接・作文	—	5教科	195 : 250	面 接
		電 気	38	15	2			○			
	商 業	ビ ジ ネ ス	38	15	2			—			
	家 庭	生 活 デ ザ イ ン	38	15	2			—			
鳥 取 中 央 育 英	普 通	普 通 (普 通)	120	24	—	無	面接・作文	—	5教科	195 : 250	面 接
		普 通 (体 育)	40	20	7		面接・作文・実技				面 接・実 技
小 計			734	138	18						

令和2年度鳥取県立高等学校募集生徒数及び入学者選抜検査内容等一覧表
 <全日制課程>

学 校 名	大 学 科	小学科(コース)	募 集 生徒数	推 薦 入 学 者 選 抜				一 般 入 学 者 選 抜			
				募集人員(人以内)	うち県外生徒(人程度)	調査書で重視する教科	検査内容	県外通学生徒募集実施	学力検査実施教科	調査書の合計評定と学力検査の合計得点	その他の検査内容
米 子 東	普 通	普通(生命科学)	40	—	—	—	—	—	5教科	130:250	面 接
		普通(普通)	280								
米 子 西	普 通	普 通	280	—	—	—	—	—	5教科	130:250	面 接
米 子	合 計		152	38	—	無	面接・作文	—	5教科	195:250	面 接
米 子 南	商 業	ビジネス情報	114	45	—	無	面接・作文	—	5教科	195:250	面 接
	家 庭	生活文化(環境文化)	18	7							
		生活文化(調理)	20	8							
米 子 工 業	工 業	機 械	38	15	—	無	面接・作文	—	5教科	195:250	面 接
		電 気	38	15							
		情 報 電 子	38	15							
		環境エネルギー	38	15							
		建設(土木)	19	7							
		建設(建築)	19	7							
境	普 通	普 通	200	50	10	無	面接・作文	—	5教科	195:250	面 接
境港総合技術	水 産	海 洋	38	8	—	無	面接・作文	○	5教科	260:250	面 接
		食品・ビジネス	38	8							
	工 業	機 械	38	8							
		電 気 電 子	38	8							
	福 祉	福 祉	38	8							
日 野	合 計		76	12	5	無	面接・作文	○	5教科	260:250	面 接
小 計			1,560	274	25						
合 計			3,922	657	62						

令和2年度鳥取県立高等学校募集生徒数及び入学者選抜検査内容等一覧表
 <定時制課程・通信制課程>

<定時制課程>

学 校 名	大学科	小 学 科 【 学部 】	募 集 生徒数	推 薦 入 学 者 選 抜				一 般 入 学 者 選 抜			
				募集人員(人以内)	うち県外生徒(人程度)	調査書で重視する教科	検査内容	県外通学生徒募集実施	学力検査実施教科	調査書の合計評定と学力検査の合計得点	その他の検査内容
鳥 取 緑 風	総 合	【午前】	70	7	-	無	面接・作文	○	3教科 国語・数学・英語	150:150	面 接
		【午後】									
		【夜間】	20	2	-						
倉 吉 東	普 通	普 通	40	-	-	-	-	-	3教科 国語と他の4教科から志願者が2教科を指定	150:150	面 接
米 子 東	普 通	普 通	30	-	-	-	-	○	3教科 国語と他の4教科から志願者が2教科を指定	150:150	面 接
米 子 白 鳳	総 合	【午前】	60	6	-	無	面接	-	3教科 国語・数学・英語	150:150	面 接
		【午後】									
小 計			220	15							

<通信制課程>

学 校 名	大学科	小 学 科	募 集 生徒数	選 抜 方 法
鳥 取 緑 風	普 通	普 通	約 80	面接・書類審査
米 子 白 鳳	普 通	普 通	約 80	面接・書類審査
小 計			約160	

<調査書の合計評定>の算出方法について

調査書の合計評定は、学力検査を実施する教科の評定に対し、学力検査を実施しない教科の評定を2倍して算出します。

(例) 全日制課程で受検教科数が5教科の場合の合計評定

$$\begin{array}{ccccccc}
 \text{第3学年で学習する}^{\ast}\text{各教科の調査書の絶対評価(5段階評定)} & & & & \text{学力検査を実施しない教科数} & & \\
 \downarrow & & & & \downarrow & & \\
 \underline{5\text{点}} & \times & \underline{5\text{教科}} & \times & \underline{3} & + & \underline{5\text{点}} & \times & \underline{4\text{教科}} & \times & \underline{6} & = & \underline{195} \\
 \uparrow & & & & \uparrow & & & & & & & & \uparrow \\
 \text{学力検査を実施する教科数} & & & & \text{学校が決めた倍率} & & & & & & & & \text{調査書の合計評定}
 \end{array}$$

学力検査を実施しない教科の評定は実施する教科の倍率に対して必ず2倍する。

※各教科とは、「国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭及び外国語」をいう。

(例) 全日制課程で受検教科数が5教科の場合の合計評定

$$\begin{array}{l}
 5\text{点} \times 5\text{教科} \times 2 + 5\text{点} \times 4\text{教科} \times 4 = 130\text{点} \\
 5\text{点} \times 5\text{教科} \times 3 + 5\text{点} \times 4\text{教科} \times 6 = 195\text{点} \\
 5\text{点} \times 5\text{教科} \times 4 + 5\text{点} \times 4\text{教科} \times 8 = 260\text{点}
 \end{array}$$

(例) 定時制課程で受検教科数が3教科の場合の合計評定

$$5\text{点} \times 3\text{教科} \times 2 + 5\text{点} \times 6\text{教科} \times 4 = 150\text{点}$$

<学力検査の合計得点>の算出方法について

各教科の配点は50点です。学力検査の合計得点は、傾斜配点をしない場合、5教科で250点満点(50点×5教科)となります。

「調査書の合計評定」と「学力検査の合計得点」の比率について

「調査書の合計評定」と「学力検査の合計得点」の比率は、8:2から2:8の範囲内としています。

(例) 「調査書の合計評定」:「学力検査の合計得点」のおよその比率

$$\begin{array}{l}
 130 : 250 = 3.4 : 6.5 \\
 195 : 250 = 4.4 : 5.6 \\
 260 : 250 = 5.1 : 4.9
 \end{array}$$

＜鳥取県立高等学校入学者選抜における実技検査内容一覧＞

【全日制高等学校の実技検査内容】

学 校 名	大 学 科 名	小 学 科 (コ ー ス)	推 薦 入 試	一 般 入 試
八 頭	普 通	普 通	下記の実技種目の中から一つ選択する。 【男子】 陸上競技、バレーボール、ソフトテニス、サッカー、柔道、剣道、ホッケー、硬式野球 【女子】 陸上競技、バレーボール、ソフトテニス、柔道、ホッケー ※県外生徒は、陸上競技（男子・女子）、柔道（男子）、剣道（男子）、ホッケー（男子・女子）の中から一つ選択する。	/
鳥取中央育英	普 通	普 通 (体 育)	<体力診断> 反復横跳び、立ち幅跳び、握力、上体起こし、長座体前屈	<体力診断> 反復横跳び、立ち幅跳び、握力、上体起こし、長座体前屈

令和2年度鳥取県立高等学校推薦入学者選抜実施校の学科等の特色及び推薦要件一覧表

< 全日制課程 >

学校名	大学科名	小学科名 (コース)	学科(コース)の特色	推薦要件	
鳥取商業	商業	商業	豊かなグローバル感覚とコミュニケーション能力を備え、産業経済界を積極的にリードし、活躍する人材の育成を目指します。 第2学年から興味・関心と進路目標にあわせて下記の4つの類型に分かれ、それぞれの専門性を深める学習をします。 [4つの類型] ・商業類型：企業経営・起業に重点を置く学習 ・会計類型：簿記・会計・経理に重点を置く学習 ・情報類型：パソコン活用と情報の分析・管理に重点を置く学習 ・デザイン類型：広告・デザイン分野での創作に重点を置く学習	○推薦入学者選抜を志願できる者は、次の各号に該当する者で、その出身中学校長の推薦を得た者とする。 ① 目的意識が明確で、本校を志望する動機・理由が明白、適切である者。 ② ビジネス教育、資格取得、部活動に意欲的に取り組む明確な意志をもつ者。 ③ 本校の教育活動に熱心に取り組み、かつ十分な成果が見込める者。	
			機械	機械に関する基本的な知識や技術、また、コンピュータ制御による機械加工などの先端技術を習得し、機械技術者として活躍できる人材を育成します。	○ 目的意識が明確で、機械分野の学習に対する興味・関心・意欲があること。 ○ 学習成績が優れ、意欲をもって学習に取り組み、教育課程に示されている教科・科目などを履修し十分に成果の見込みがあること。
			電気	電気、電子、情報技術等の基礎学習をもとに、電気技術者の資格を取得させ、幅広い産業分野で活躍できる人材を育成します。	○ 目的意識が明確で、電気、電子、情報技術に対する興味・関心・意欲があること。 ○ 学習成績が優れ、意欲をもって学習に取り組み、教育課程に示されている教科・科目などを履修し十分に成果の見込みがあること。
			制御・情報	コンピュータ、電気、機械の基礎学習をもとに、制御系または情報系の専門分野をより深く学習し、制御情報技術者として活躍できる人材を育成します。	○ 目的意識が明確で、制御・情報分野の学習に対する興味・関心・意欲があること。 ○ 学習成績が優れ、意欲をもって学習に取り組み、教育課程に示されている教科・科目などを履修し十分に成果の見込みがあること。
鳥取工業	工業	建設工学	さまざまな環境等への配慮が必要な住宅、ビル、橋、道路等の建造に対応でき、活躍できる人材を育成します。	○ 目的意識が明確で、建設分野の学習に対する興味・関心・意欲があること。 ○ 学習成績が優れ、意欲をもって学習に取り組み、教育課程に示されている教科・科目などを履修し十分に成果の見込みがあること。	
			作物の栽培、食品加工、流通などについての知識・技術を学習し、ものづくりを通して、時代に対応できる幅広い資質を身に付けた人材を育成します。	○ 農産物の生産や加工に興味・関心があり、積極的に学習しようとする意欲のある生徒。	
			ガーデニングやフラワー装飾・植物バイオテクノロジーに関する知識と技術を学習し、心豊かな生活空間の創造と緑地環境の保全を担う人材を育成します。	○ 草花や造園に興味・関心があり、積極的に学習しようとする意欲のある生徒。	
			機械と電気・電子についての知識・技術を学習し、ものづくりを通して、時代に対応できる幅広い資質を身に付けた人材を育成します。	○ 機械や電気・電子に興味・関心があり、積極的に学習しようとする意欲のある生徒。	
鳥取湖陵	家庭	人間環境	生活に欠かせない衣食住や保育・福祉に関する知識と技術を学習し、心豊かな生活を創造し地域の担い手となる資質を身に付けた人材を育成します。	○ 衣食住や保育・福祉など家庭科の内容に興味・関心をもち、積極的に学習しようとする意欲のある生徒。	
			様々なコンテンツ制作やシステム開発に関する幅広い知識と技術を体験的に学習し、情報社会に活躍する人材を育成します。	○ コンピュータを利用した情報の活用や発信に興味・関心があり、積極的に学習しようとする意欲のある生徒。	
			情報科学		

学校名	大学科名	小学科名 (コース)	学科(コース)の特色	推薦要件
青谷	総合	小学科名 (コース)	普通教科や専門教科から自分の興味・関心や進路に応じて選択して学習する、普通科をベースとした総合学科、単位制の高校です。1年次では普通科目を中心とした必修科目で基礎学力を養成し、徹底した進路ガイダンスを行います。2年次からは興味・関心や進路に応じて4つの「系列」から1つを選択します。青谷高校は、社会で信頼され、社会に貢献する人材を育てることを目指しています。	推薦要件 【県内志願者推薦要件】 ○中学校3年間を通じて基本的な生活習慣が確立した生活を送ることができた人物で、以下の推薦要件A、推薦要件Bのいずれかに該当する生徒。 推薦要件A ○次の各項目に該当する生徒とする。 ①本校を志望する動機が明確、適切であること。 ②学校生活に意欲的であり、リーダーとしての活躍が期待できること。 ③本校に入学後、十分に卒業する見込みがあること。 推薦要件B(15名のうち3名程度) ○次の各項目に該当する生徒とする。 ①本校の指定する部活動(卓球部)において、県大会以上の大会に出場していること。県大会以上の大会は、地区予選を経た大会とする。また、団体戦での出場は、選手として出場した場合とする。 ②本校に入学後、上記①の部活動を継続して活動できること。 【県外志願者推薦要件】(15名のうち3名程度) ○次の各項目に該当する生徒。 ①基礎的な学力を有し、出席状況が良好で、模範的な生活態度であること。 ②本校が取り組んでいる地域連携に意欲的に取り組むことができること。
岩美	普通	普通	1年次に将来の進路についての学習を深め、2年次から進路志望に応じた3つの類型に分かれます。 大学等の上級学校への進学を目指す進学類型、就職及び専門学校等への進学に対応する観光・スポーツ類型、福祉系への進学や就職に対応する福祉類型に分かれます。規範意識があり、夢に向かって頑張る人を求めます。	○本校の教育活動を理解し、学習とともに部活動にも積極的に取り組む意欲がある者。 ○規範意識があり、夢に向かって頑張ることのできる強い意志をもった者。 ○県外からの志願者については、バレーボール(女子)において優れた技術と運動能力をもち、3年間継続して活動する強い意志をもった者。
八頭	普通	普通	体育・スポーツに関する基礎的な知識を理解し、実技や実習を通じて、より高度な運動技能の習得を目指すとともに、多様な進路に対応できる学力を養います。	○優れた能力と資質をもち、将来、スポーツまたは健康に関する分野で活躍するために、学習と部活動との両立に意欲的に努めることのできる人物であること。なお、部活動については、受験する実技検査種目を3年間継続して活動する意志が強くあること。
智頭農林	農業	ふるさと創造 森林科学 生活環境	農業を基盤とした学習を通して、ふるさとを愛し、将来の地域を支え、地域の農業と福祉を支える人を育成します。 森林と木材の有効利用に関する知識と技術を習得し、林業及び地域産業の発展に貢献できる能力と態度を備えた人を育成します。 衣食住など生活を取り巻く環境に関する知識と技術を習得し、心豊かな生活が創造できる能力と態度を備えた人を育成します。	○目的意識が明確で、学科を志望する者。 ○意志が強く、学科に対する適性及び興味・関心を有する者。 ○学科について十分に卒業の見込みがある者。
倉吉西	普通	普通	視野を広げ、社会性を高める「チャレンジグループ活動」の取り組みや、毎日の授業を大切にすることを心がけます。 将来の夢を描き、目標に向かって全力をつくす生徒や、学習と部活動に積極的に取り組み、明るく健全な生活を送ることのできる生徒を、それぞれの夢の実現に向けて指導・支援します。	○以下の要件のいずれかを満たすこと。 ①進路に対する明確な目的意識とともに十分な基礎学力を有し、進路の実現に向けて粘り強く努力できること。 ②体育・文化・芸術活動等に意欲的に取り組むとともに、学習との両立を目指してその厳格に粘り強く努力できること。 ③学校行事や生徒会活動等でリーダーシップを発揮し、学校の活性化に寄与すること。
倉吉農業	農業	生物	農業の基本である動物の飼育、植物の栽培を中心に据え、幅広い農業知識及び技術を学習します。 農業の多面的機能を理解するとともに、農業経営者をはじめとして地域社会で活躍できる人材を育成します。	○将来、動物の飼育や植物の栽培で農業自営を目指している者、または、地域農業を支える意欲や関心を有している者。 ○学科の特色を理解し、適性があり、実習に意欲的に取り組み、十分に卒業の見込みがある者。 ○学校生活、寮生活とともに規律ある生活ができ、進んで仲間づくりができる者。

学校名	大学科名	小学科名 (コース)	学科(コース)の特色	推薦要件			
米子工業	工業	機械	機械設計・機械工作に重点をおき、機械制御に関する電気、電子、情報などの分野を幅広く学習し、機械技術及び制御技術を中心に幅広い技術を身に付けた人材の育成を目指します。	○ 機械を使用したいいろいろな加工や制御に興味があり、将来、機械を使う技術者として社会に貢献したい生徒。			
			電気	生活に必要な電気エネルギーについて、電気の発生から、電気の受け渡し、電力の利用に関係した分野を中心に学び、電気関連技術を身に付けた人材の育成を目指します。	○ 電気のつくり方、送り方、使い方や電気工事、ロボット制御に興味があり、将来、この分野で技術者として社会に貢献したい生徒。		
			情報電子	コンピュータのハードウェア・ソフトウェアに加え、電気・電子技術、計測制御などの分野について幅広く学習し、コンピュータ及び電子制御の技術を身に付けた人材の育成を目指します。	○ 家電・通信機器やコンピュータに興味があり、将来、電子・情報技術分野の技術者として社会に貢献したい生徒。		
			環境エネルギー	電気・電子、環境化学の基礎及び太陽光発電などのクリーンエネルギーについて幅広い視点から学び、電気関連技術、情報技術や環境化学の知識を身に付けた人材の育成を目指します。	○ 電気・電子・環境化学やそれらを融合してつくられる太陽光発電などのクリーンエネルギーに興味があり、将来、この分野で技術者として社会に貢献したい生徒。		
			建設(土木)	測量、土木設計・施工、製図などを中心に、自然環境を大切にしながら、開発・利用・保全する技術を学習し、将来、道路・河川・港湾・砂防などの建設工事に関わる人材の育成を目指します。	○ 道路、橋、河川、港湾、鉄道などの社会基盤(インフラ)に興味があり、将来、この分野の技術者として社会に貢献したい生徒。		
			建設(建築)	建築構造、設計・施工等に重点をおきながら、建物及び関連する設備を中心とした生活環境に関する学習を行い、同分野を融合した幅広い技術を身に付けた人材の育成を目指します。	○ 建物やそれに関連する設備など生活環境に興味があり、将来、この分野で技術者として社会に貢献したい生徒。		
			普通	「文武両道」「質実剛健」の校訓のもと、目的別クラス編成及び多様な選択科目の設置により、生徒一人ひとりの能力・適性を伸ばし、学力の向上と希望する進路実現を目指します。	○ 大学への進学意識が強く、志望する動機・理由が明白、適切である者。 ○ 意志が強くで学校の部活動に対する適性及び興味・関心を有する者。 ただし、県外志願者は、陸上・ヨット・ハンドボール・サッカー・硬式野球のいずれかとする。 ○ 学校の教育課程に熱心に取り組み、かつ十分な成果が見込める者。		
			水産	航海実習や潜水など幅広く海洋に関する体験的な学習を行い、海技士・小型船舶操縦士等の資格取得を目指すなど、幅広く海洋に関わる人材を育成します。	○ 基本的な生活習慣が身に付き、人物及び学習態度が優れている者。 ○ 志望する科に対する興味、関心、意欲を有し、志望動機・志望理由が適切、明確で、目的意識を有する者。 ○ 学習成績の良好な者。		
			環境総合技術	工業	食品・ビジネス	水産食品を主とした専門的な知識・技術を身に付けるとともに、ビジネス分野の学習を通して経営感覚を養い、地元貢献できる産業人を育成します。	
					機械	「ものづくり」の基礎基本の習得、自動車整備の基礎と実践を学び、3級自動車整備士資格の取得を目指す。新技術に対応できる人材を育成します。	
日野	福祉	電気電子	電気・電子・情報の基礎学習に加え、電気工事や情報分野の各種資格取得を目指し、実践的に活躍できる人材を育成します。				
		福祉	福祉に関する専門的な知識・技術を身に付けるとともに、介護福祉士・訪問介護員等の資格取得に取り組む、地域の福祉を支える人材を育成します。				
日野	総合	総合	自分の興味・関心や進路希望に基づいて、様々な選択科目の中から科目を選択して学べる総合学科の高校です。上級学校への進学、想われた環境下での農業実習、商業検定への挑戦、介護職員初任者研修の修了資格の取得が可能です。 自己実現に向けて、向上心をもって勉強に部活動に努力する人を求めます。	○ 本校及び総合学科を志望する動機・理由が明確で、学習意欲が旺盛であり、出身中学校長の推薦を得た者とする。 また、県外志願者は以下の要件を満たす者とする。 ・ 郷土芸能部、射撃部及びソフトテニス部等の部活動に積極的に取り組み、かつ双葉寮における学習会に意欲的に取り組むことで学力向上を目指す生徒で、総合進学系列及びその他の系列から大学・短大等の進学を目指す者。			

<定時制課程>

学校名	大学科名	小学科名【部】	学科【部】の特色	推薦要件
鳥取緑風	総合	【午前】	午前2時間、午後2時間の1日4時間授業が基本です。午後の5・6時間の授業を選択するなどして、3年間での卒業が可能です。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目的意識が明確で、定時制課程各部を志望する動機・理由が適切である者。 ○ 定時制課程各部に対する適性及び興味・関心を有し、学習意欲があり、意志が強く、まじめに学習に取り組める者。 ○ 定時制課程各部の教育課程を履修し、十分に成業の見込みがある者。 ○ 勤労を尊び、責任感が強く、集団の規範が守れる者。 上記を踏まえ、出身中学校長の推薦を得た者。
		【午後】	午後から夕方までの1日4時間授業が基本です。午前の1・2時間の授業を選択するなどして、3年間での卒業が可能です。	
		【夜間】	夕方からの1日4時間授業が基本です。午後の5・6時間の授業を選択するなどして、3年間での卒業が可能です。	
米子白鳳	総合	【午前】 【午後】	学ぶ意欲と心のふれあいを大切にし、少人数による習熟度別学習を取り入れていきます。基本修業年限は4年間ですが、3年間での卒業も可能です。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目的意識が明確で志望する動機・理由が明白、適切である。 ○ 意志が強く、本校定時制課程総合学科に対する適性及び興味・関心を有する。 ○ 本校定時制課程総合学科の教育課程に熱心に取り組み、かつ十分な成業が見込めると出身中学校長が認めた者。

入学志願者の選抜のための面接及び口頭試問実施要領

1 趣 旨

入学志願者全員に対して、面接又は口頭試問のいずれかによる検査を実施することで、学校、学科又はコースに対する関心、目的意識、学習意欲、適性等を把握する。

2 実施方法等

各高等学校長は、校長を委員長とした面接又は口頭試問実施委員会を設置し、その意見を聞いた上で面接及び口頭試問の方式、時間、質問内容、評価基準等の実施方法を定める。

なお、口頭試問は、推薦入学者選抜においてのみ実施することができることとし、その口頭試問においては、学校、学科又はコースに対する理解の状況や、中学校等における基礎的・基本的な学習内容の理解の状況等をみることができることとする。

3 留意事項

(1) 志願者が落ち着いて答えられるように、和やかな雰囲気の中で面接又は口頭試問ができるよう配慮する。

(2) 検査員の数は、一検査場につき3名以上を原則とする。

なお、検査員は十分な意思統一を図り、面接及び口頭試問が公平に行われるよう配慮する。

(3) 質問事項は、志願者が答えやすいものとなるよう精選するとともに、質問の仕方にも十分留意し、いたずらに志願者を不安がらせたり、動揺させたりすることのないよう配慮する。また、検査に当たっての配慮の対象でなくとも、吃音等により話したり聞いたりするのに配慮を要する志願者にも、適切な対応をとる。

なお、次のことについては質問しないよう留意する。

ア 志願者の思想、信条及び容姿に関すること。

イ 志願者の家庭状況及び生活環境に関すること。

ウ 学力検査に関すること。

エ 長期欠席者についてはその理由に関すること。

(4) やむを得ない事情で検査時刻に遅刻した志願者には、その者の検査時刻を遅らせるなど臨機の措置をとる。

(5) 当日、やむを得ない事情で検査を受けることができなかった志願者については、中学校長を通じて本人に改めて検査日時を通知する。

この場合、志願者は、やむを得ない事情があったことを証明するに足る書類を中学校長を通じて志願先高等学校の校長に提出しなければならない。

入学志願者の選抜のための作文及び小論文実施要領

1 趣 旨

入学志願者に対して、作文又は小論文のいずれかによる検査を実施することで、学校、学科又はコースに対する関心、目的意識、学習意欲等を把握する。

2 実施方法等

各高等学校長は、校長を委員長とした作文又は小論文実施委員会を設置し、その意見を聞いた上で、作文及び小論文のテーマ、評価基準等の実施方法を定める。

なお、小論文は、推薦入学者選抜においてのみ実施することができることとし、その小論文においては、与えられたテーマ、課題文及び資料に対して自分の考えをまとめ、筋道を立てて表現する力をみることができるとする。

3 留意事項

(1) 以下のようなテーマとならないよう留意すること。

ア 志願者の思想、信条に関すること。

イ 志願者の家庭状況及び生活環境に関すること。

ウ 学力検査に類するような専門的な知識・教養を問う内容。

ただし、ウについて、小論文においては、原則として中学校学習指導要領に示された範囲内で、発展的・応用的な内容のテーマ等は可能とする。

(2) やむを得ない事情で検査時刻に遅刻した志願者には、その者の検査時刻を遅らせるなど臨機の措置をとる。

(3) 当日、やむを得ない事情で検査を受けることができなかった志願者については、中学校長を通じて本人に改めて検査日時を通知する。

この場合、志願者は、やむを得ない事情があったことを証明するに足る書類を中学校長を通じて志願先高等学校の校長に提出しなければならない。

入学志願者の選抜のための実技検査実施要領

1 趣 旨

入学志願者に対して、実技検査を実施することで、学校、学科又はコースの特性に応じた能力・適性等を把握する。

2 実施方法等

各高等学校長は、校長を委員長とした実技検査実施委員会を設置し、その意見を聞いた上で実技検査の検査内容、評価基準等の実施方法を定める。

3 留意事項

- (1) 検査は、中学校で学習した基礎的・基本的な事項について行う。
- (2) やむを得ない事情で実技検査時刻に遅刻した志願者には、その者の実技検査時刻を遅らせるなど臨機の措置をとる。
- (3) 当日、やむを得ない事情で実技検査を受けることができなかった志願者については、中学校長を通じて本人に改めて実技検査日時を通知する。

この場合、志願者は、やむを得ない事情があったことを証明するに足る書類を中学校長を通じて志願先高等学校の校長に提出しなければならない。